

(公立図書館の民間活用のさまざまな事例)

①武雄市立図書館（佐賀県）

- 人口 49,749人 17,878世帯（H28年7月現在）
- 指定管理者 カルチャー・コンビニエンス・クラブ（CCC）株式会社  
経費削減という観点ではなく、従来の図書館のイメージを覆し、図書館からにぎわいづくりやまちづくりを進めていくことで注目された。  
蔦屋運営で培ったノウハウを活かし、スターバックスや蔦屋書店を併設。独自の分類法を導入し、天井まである高い書架による空間演出が特徴
- 指定管理期間 平成25年4月1日～平成30年3月31日（5年間）
- 委託費用 図書館改修費用8億円のうち、3.5億円がCCC、4.5億は武雄市負担  
指定管理料 1.13億（委託前 1.2億 ただし、全体では赤字）
- 利用状況

年度	来館者数	貸出冊数	貸出利用者数	貸出利用者の比率(%)			利用登録者比率(%)	
				市内	市外	県外	市内	市外
2015	728,242	460,931	150,476	55.0	31.7	13.3	30.3	69.7
2014	800,736	480,153	153,545	54.8	32.0	13.2	32.2	67.8
2013	923,036	545,324	167,899	56.5	32.1	11.4	35.1	64.9
2011 (直営時)	255,828	340,065	82,539	79.1	20.5	0.3		

※ 2012年度は、改修のため5ヶ月間休館したため比較数字無し  
佐賀新聞より

- 平成27年9月に実施した利用者アンケート調査（531人）  
「現在の図書館についてどう感じですか？」  
→ 大いに満足 33.3% 満足 51.7% どちらでもない 10.8% 不満 4.2%  
「不満な点は何ですか？」  
→ 駐車場が混んでいることがもっとも多い  
館内が混んでいる、館内がうるさい（館内が静か）、子どもを連れて行きづらい 他
- 問題点
  - 開館時、購入した一部の蔵書に不適切な蔵書が含まれるなど、図書館の基本的な業務の「選書」において課題が残った。
  - Tポイント付きの利用者カードと個人情報保護の関係

・ TSUTAYA 図書館の今後の状況

武雄市立図書館に隣接して「こども図書館」を建設する計画あり

海老名市立図書館（神奈川県 H27 年 10 月）、多賀城市立図書館（宮城県 H28 年 3 月 21 日～）

小牧市立図書館：H27 年 10 月 住民投票で否決され白紙撤回

周南市立図書館（山口県）： H28 年 2 月本議会で否決され公募としたが、CCC のみが  
手上げ

②伊万里市民図書館（佐賀県）

・人口 56,071 人 22,945 世帯 （H28 年 8 月現在）

・直営

・市民の「図書館づくりをすすめる会」がきっかけで、市は建設準備室を設置し、市民とともに  
学び合う塾を開催して双方が図書館に対する理解を深めながら平成 7 年 7 月に開館。

市民目線、市民参加が反映され、そのミッションは「図書館はひとづくり・まちづくりを支え  
る成長する施設」として位置付けられている。

「すすめる会」は「図書館フレンズいまり」となり、約 400 人の会員で、図書館の広報、美化、  
イベントなどの 5 委員会が図書館の視察対応や書庫整理、イベント開催に取り組んでいる。

・職員 18 名（司書 12 名）

・統計（H27 年度）

貸出利用者数 9 万 7,308 人、貸出点数 46 万 8,297 点、登録者 4 万 886 人

しわ

③紫波町図書館（岩手県）

・人口 33,533 人 11,777 世帯 （H28 年 7 月現在）

・公民連携（PPP）手法を用いて、10 年以上放置されていた駅前の町有地をオガール紫波株式会  
社（第 3 セクター 紫波町出資 比率 39%）が発注者として、オガールプラザを建設。

平成 24 年 6 月に開業し、情報交流館（図書館＋地域交流センター）、子育て支援センター

（紫波町賃借）、民営の産直マルシェ、カフェ、居酒屋、医療機関などで構成される。

図書館を含む情報交流館は完成後町に売却、建物の他部分はオガールプラザ（株）が所有し、  
運営・維持管理を行う。

・これまで町に図書館はなく、当初は NPO 団体に一部業務委託したが平成 26 年度から直営

・農業にまつわるトークイベントの開催、産直マルシェに料理本の POP 広告を展示する等、町の  
基幹産業である農業の支援に力を入れている。

・利用状況（平成 26 年度） 図書館来館者数 19.8 万人、 貸出冊数 238,812 冊

・産直マルシェの売上 約 3 億 9000 万円（H25.6 月～26.5 月）

・事業費 公共部分 8 億 1 千万円（音響を除く）、まちづくり交付金 2 億 7700 万円を受けている。

#### ④武蔵野プレイス（東京都）

- 人口 143,908人 75,298世帯（H28年8月現在）
- 指定管理者 公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団（外郭団体）  
「市と密接な連携を図る必要のある施設」として、非公募による選定
- 平成23年7月開館。図書館のほか、生涯学習支援・市民活動支援・青少年活動支援の機能を備えた複合機能施設。駅から徒歩1分の立地にあり、夜10時まで開館。1階中央にカフェがあり、資料を持ち込みが可能。夕方5時以降はアルコール類の提供あり。  
開館以来、来館者は増え続け、平日でも開館前から50人ほど利用者が並んでいる。  
スタッフは約70人、市からの派遣6名、他は事業団職員・嘱託職員からなる。
- 指定管理期間 平成22年4月1日～27年3月31日（5年間）  
平成27年4月1日～32年3月31日（5年間）
- 利用状況（平成27年度）  
来館者数 175万人（当初予測 年間80万人）、貸出数 100万件超
- 課題  
→1日9,000人を超える利用者が訪れるため、エレベータやトイレ等設備の使用頻度が高く、適切な施設管理が必要  
→委託料が決まっているため、利用者増による人件費の増が難しい。

がまごおり

#### ⑤蒲郡市立図書館（愛知県）

- 人口 81,021人 31,551世帯（H28年8月現在）
- 指定管理者 NPO法人ブックパートナー  
市直営で運営していた平成14～18年に採用された非常勤司書、非常勤職員、元図書館職員を中心に設立。公募による選定。指定管理者制度導入後、開館時間を1時間早める、インターネット予約を開始するなどサービス向上に努める。  
民間企業との違いとして、収益は株主配当や役員報酬ではなく、資料購入や設備の充実に充てるなど、利用者や市民に還元している。  
職員数22名（H27年度 総合職員8名、一般職員8名、パート6名）
- 指定管理期間  
平成21～23年度（3年間）、平成24～26年度（3年間）、平成27～31年度（5年間）
- 利用状況

年度	入館者数	登録者数	貸出人数	貸出冊数	予約件数
H27	322,198	46,469	131,549	491,164	33,968
H20 (直営時)	300,119	37,950	111,390	453,114	16,562